

2022年 高津区ティーボール大会開催要綱

Rev3_2022/9/1

| | |
|----------------|---|
| 主催 | 高津区少年野球連盟 |
| 開催目的 | やわらかいバットとボールを使って試合を行い、低学年の子ども達に野球の楽しさを知ってもらう。 多摩川河川敷グラウンドを有効活用し、低学年の子ども達にも球場での試合を経験してもらう。 試合のメンバーを揃えるために、各チームの低学年の選手の勧誘につなげる。 連盟に所属していないチームにも参加してもらい、高津区少年野球連盟の更なる活性化を目指す。 |
| 参加資格 | 3年生以下～年長以上の選手10名以上。(お母さんの参加も可能です) 連盟へ登録していない選手も出場可能。 連盟に所属していないチームも参加可能。 グローブは無くてもかまいませんが、出来れば用意してあげてください。 |
| 申込方法 | 指定の申込書を連盟事務局に提出し、大会参加申し込みを行う。 年度中の途中参加や途中脱退も認める。 |
| 大会形式 | 大会後の瀬田球場と諏訪第一球場を使用 ティーボール大会参加チームから一日あたり3～4チームを集めて、総当たりで試合を行う(各チーム2～3試合ずつ) (例) 14:00～ 第1試合 14:40～ 第2試合 15:20～ 第3試合 順位はつけず、表彰も行わない。 参加各チームが最低2回は大会参加できるように、組み合わせや開催日程は連盟で決定する。 ボール、バット、ベースは連盟で準備する。 ティースタンドは、当日の参加チームで準備する。 |
| ティーボール 試合形式 | <ul style="list-style-type: none">・1試合2イニング(1イニング打者10人、守備10人)・後攻チームの得点が多くても、2回裏まで行う。・ティーボールの正式ルールは採用せず、トスベースボールのルール・道具で行う。 (トスマシンは使用しません、代わりにティースタンドを使用します)・塁間は18mとする。・走者はリード禁止。打者は三振なし。・飛球は野手のグローブに当たって落球となっても捕球と同様に判定する。走者がいるときの扱いは、 インフィールドフライトと同様とする。ファールフライに関しても捕球と判定し、走者にリタッチの義務が生じる。・審判は対戦チーム同士で2名ずつ出して行う。・ベンチに記録係を1名入れて、得点のカウントを記録係が行う。・試合当日に選手が10名に満たない場合は、守備ポジションの不足を大人が補うことを認める。 攻撃時は、塁に残っていない選手が同一イニングで2回打席に入ることを認める。 ただし、参加選手が少なく、全ての選手が2回打席に入った場合は、10名の攻撃に満たなくてもチェンジとする。 全ての選手を2回打席に立たせるために限り、2回打席に入った選手とランナーとの交代を認める。・母の出場も認め、人数制限は規定しない。 |
| その他 | 1～10のゼッケンは、各チームで用意する。 審判のホイッスルは、各チームで用意する。 参加選手の保険対応(スポーツ保険・一日保険など)は、各チームで行う。 |